

# 令和7年度 第52回「部落差別をなくする運動」

## 強調旬間啓発事業

### 参加者アンケート



人権課題に積極的（前向き）に取り組む当事者の発信が非常に参考になった。清和女子中高のハンドベルがとても素敵でした。



わかろうとする姿勢が大切なんだなと感じた。



部落差別に対する意識がかわるようになりました。



これまでの自分の人権意識を改めて問い直す機会でした。  
人は対話の中で世の中をよりよくすることができると感じました。  
世の中のちがいを自分事としてこれから考えていきたいと思えます。



「偏見や差別をしない、させない」という考え方ではなく、「ちがいを尊重する」ことが大切ではないかと考えるようになりました。